

令和5年(2023)4月 入域観光客数概況(速報)

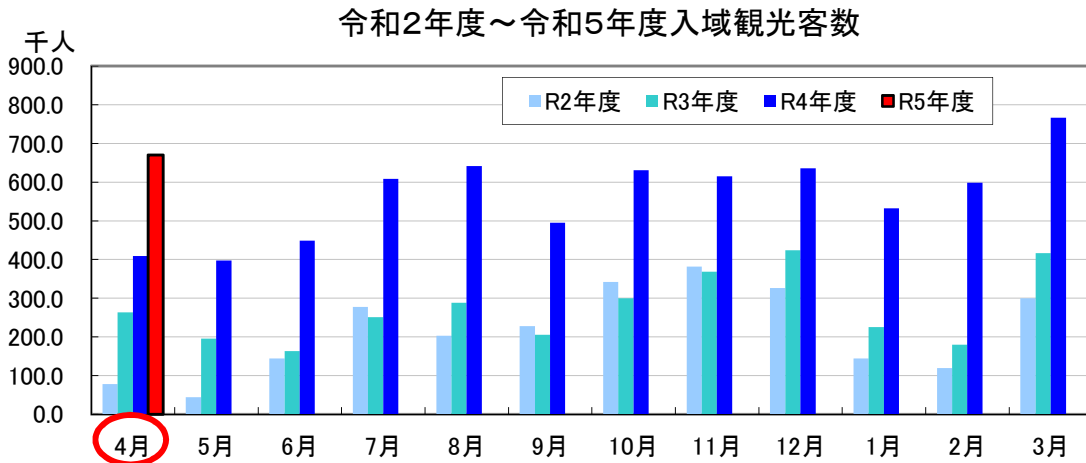
66万9,900人
 対前年(R4)同月比 +26万900人、+63.8%
 ~4月としては復帰後5番目、対前年同月比で17ヶ月連続の増加~
 ※(H31年度)同月比 ▲18万1,500人、▲21.3%

入域状況

入域観光客数(令和4年度との比較)

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
国内客	603,100 人	409,000 人	+ 194,100人	+ 47.5%	90.0%
外国客	66,800 人	0 人	+ 66,800人	皆増	10.0%
合計	669,900 人	409,000 人	+ 260,900人	+ 63.8%	100.0%

※外国客には、海路における乗務員等2,700人を含む。



国内客入域状況 概況及び見通し

4月は、新型コロナ感染症拡大にかかる行動制限がない状況や全国旅行支援による後押し、大型イベントの開催、春休み及びゴールデンウィークの旅行需要に対する航空会社の臨時便・季節運航等(東京方面、名古屋等)により、前年同月比で194,100人の増(47.5%増)となった。特に、東京・関西方面については、コロナ禍前の平成31年度同月を上回った。

5月は、ゴールデンウィーク及び全国旅行支援による需要喚起、新型コロナが5類感染症へ移行したことで県外からの旅行需要の継続が期待できるほか、ゴールデンウィークに係る航空会社による臨時便・季節運航による提供座席数の増加や、横浜港・神戸港発のクルーズ船の寄港等が予定されており、好調に推移すると見込まれる。

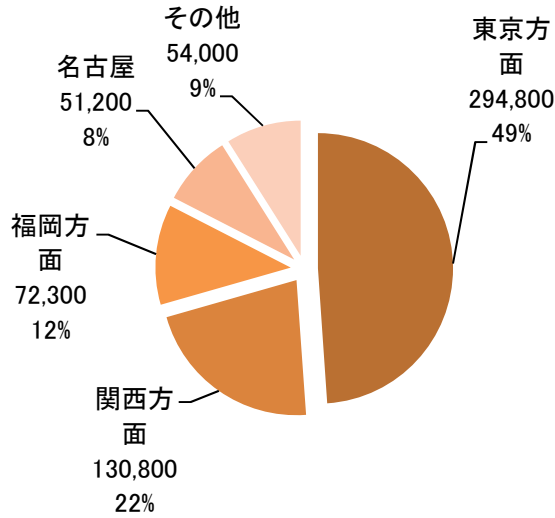
国内客 地域別入域状況

区分	R5年度	R4年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	294,800 人	205,900 人	+ 88,900人	+ 43.2%	48.9%
関西方面	130,800 人	86,200 人	+ 44,600人	+ 51.7%	21.7%
福岡方面	72,300 人	51,800 人	+ 20,500人	+ 39.6%	12.0%
名古屋	51,200 人	38,400 人	+ 12,800人	+ 33.3%	8.5%
その他	54,000 人	26,700 人	+ 27,300人	+ 102.2%	9.0%
合計	603,100 人	409,000 人	+ 194,100人	+ 47.5%	100.0%

※国内海路客1,400人含む(鹿児島1,400人)。

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しているため、同庁公表後の令和5年7月の公表を予定しています。

国内客の地域構成比



各方面ごとの概況と見通し

東京

4月は、新型コロナウイルス感染症拡大にかかる行動制限がない状況や全国旅行支援による後押しのほか、航空会社による臨時便等により、前年同月及びコロナ禍前の平成31年度同月を上回った。
5月は、ゴールデンウィーク及び新型コロナウイルスの5類感染症移行による旅行需要の継続が期待されることから、好調に推移すると見込まれる。

関西

4月は、新型コロナウイルス感染症拡大にかかる行動制限がない状況や全国旅行支援による後押し等により、前年同月の1.5倍の水準となった。また、コロナ禍前の平成31年度同月を上回った。
5月は、ゴールデンウィーク及び新型コロナウイルスの5類感染症移行による旅行需要の継続が期待されることから、好調に推移すると見込まれる。

福岡

4月は、新型コロナウイルス感染症拡大にかかる行動制限がない状況や全国旅行支援による後押し等により、前年同月を上回った。
5月は、ゴールデンウィーク及び新型コロナウイルスの5類感染症移行による旅行需要の継続が期待されることから、好調に推移すると見込まれる。

名古屋

4月は、新型コロナウイルス感染症拡大にかかる行動制限がない状況や全国旅行支援による後押しのほか、春休み及びゴールデンウィーク期間中の季節運航等により、前年同月を上回った。
5月は、ゴールデンウィーク及び新型コロナウイルスの5類感染症移行による旅行需要の継続が期待されることから、好調に推移すると見込まれる。

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しているため、同庁公表後の令和5年7月の公表を予定しています。